



KANI PUBLIC ARTS CENTER *ala*

可児市文化創造センター

**成熟社会における文化政策**  
社会のユニバーサルデザインへ向かう。



# アーラまち元気プロジェクト



激しい社会の変容に対する「処方箋」としての  
文化芸術及び劇場音楽堂等の社会的役割。

## ポジティブ・ウェルフェアの再評価。

### Positive Welfare

- ・ 「ウェルフェアとは、もともと経済的な概念ではなく、満足すべき生活状態を表す心理的な概念である。したがって、経済的給付や優遇措置だけではウェルフェアは達成できない」、「福祉のための諸制度は、経済的ベネフィットだけでなく、心理的なベネフィットを増進することも心がけなければならない」

アンソニー・ギデンス

- ・ ⇒ 孤立しがちな人々の生きる意欲を醸成して、そのポテンシャルを社会の発展に反映させる仕組み＝社会包摂。  
⇒ 公共財としての文化芸術・劇場音楽堂等の位置づけ。  
⇒ Well - Beingのための拠点施設と政策的に位置づける。

## 包摂的な社会構築のために。

- ・ 身体的障害
- ・ 精神的障害
- ・ 社会的障害

これらを要因とする生活困難と、人間の尊厳の危機的状況によって社会的孤立に瀕している社会の構成員を、文化芸術の社会包摂機能によってケアして、その個々のポテンシャルを新しい社会構築に反映させる。

⇒ 自己肯定感と生きる意欲の醸成⇒他者の発見。

# 自己肯定感と、他者をありのままに受け入れる寛容性。

**自己肯定感・自尊感情(self-esteem)の向上**

**他者とのコミュニケーションの質的向上**

特に、言語以外の、音楽や身体表現による他者との即興的やり取りは、個々の違いを認め合いつつ、協働して何かを生み出す喜びを味わう貴重な体験となる。

◎包摂型事業による社会コストの軽減と将来的な税収増を図る。

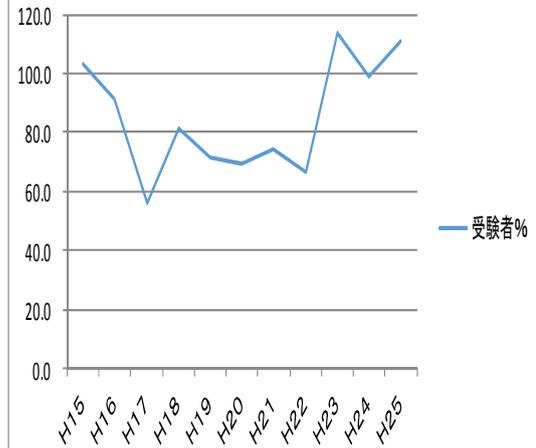
## 県立東濃高校



## 転退学者数推移

年度	転退学者数	退学	転学
H15	27	12	15
H16	26	15	11
H17	34	23	11
H18	20	15	5
H19	33	28	5
H20	47	35	12
H21	31	28	3
H22	40	33	7
H23	46	36	10
H24	37	27	10
H25	36	30	6
H26	10	9	1

## 受験者%



# 劇場から一番遠くにいる人々へ。

可児市内中高生の皆さんへ、地元企業・団体からチケットのプレゼント

## 私のあしながおじさん プロジェクト 2015

SPRING - SUMMER

最近、若は心が動くという感動をしましたか。  
 一柱のしずくが水面に小さな波紋を広げるように、  
 それがどんなに小さなやがてあつても、その「感動」は若を大きく変えてくれます。  
 若たちは可児の未来です。  
 だから、しずくが若の心に、われしらは音楽や演劇の「感動」を届けたいのです。

音楽や演劇との「新しい出会い」は、きっと若に生きている喜びをもたらします。  
 「生きる意味」が若の心に生まれます。  
 そして、それは仲間を誘って体験を共にしてください。  
 「一緒に体験すること」が、若と誰との距離は驚くほど変化させてくれます。

わたしたちは、その素敵な「化学反応」を若たちに届けたいのです。

可児市文化創造センター  
 公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

私のあしながおじさんプロジェクト  
 2015年度1年間の対象公演は全9公演です。20より年数3公演まで鑑賞希望申込みができます。2015年度公演(Autumn-Winter)結果は、8月を予定しています。  
 【春】(Spring-Summer) 【秋】(Autumn-Winter)  
 ⑤/29 住吉楽隊&ジャズバンド カシオ・リゾネ・リサイタル2015 ⑩/9 @ Collection シリーズ vol.8 「すべてここ」  
 ⑦/19 新日本フィルハーモニー交響楽団「南びこの島を渡る海峡」 ⑩/13 文学座公演「南びこの島を渡る海峡」 演劇：秋に演劇  
 ⑦/25 シン・カズキ vol.8 ⑪/14 新日本フィルハーモニー交響楽団「ニューヨーク・コンラート」【世界】  
 ⑧/12 舞臺劇「オセロ」 ⑪/20 世界「舞臺」 ⑫/11 舞臺劇 GROUP 【舞臺】  
 ⑨/28 舞臺劇「オセロ」

可児市文化創造センター からのお知らせです。  
 公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

地元企業・団体からアララ自主事業公演チケットのプレゼント

## 私のあしながおじさん プロジェクト 2015 For Family

児童・生徒就学援助制度を受けられている皆様へ

可児市文化創造センターでは、地元企業・団体から寄付を募り、市内中高生の皆さんに公演チケットをプレゼントする「私のあしながおじさんプロジェクト」を平成23年度より実施しています。

対象となる公演は、クラシックからジャズ、演劇まで幅広く、年間8公演ございます。  
 多忙な日常から少し離れて、音楽や演劇との心動かされる「新しい出会い」をしてみませんか。

就学援助制度を受けられている皆様は、お子様だけでなく、保護者の方へもチケットをプレゼント致します。

ぜひこの機会に、感動の体験を家族で共にしてください。

公演鑑賞希望申込み方法は、裏面をご参照ください。

主催：(公財) 可児市文化芸術振興財団

# シアターフリー・コンサート



- 障害者福祉施設
- 障害者支援NPO
- 県立特別支援学校
- 乳幼児と若い母親

## 多民族都市の試み 多文化共生パフォーマンス



# Self Story Telling (ドキュメンタリー・プレイ)



# 仲間づくりワークショップ



# 社会保険病院・今渡小・老人保健施設



## 明日へのワークショップ 不登校の子供たちへのアプローチ

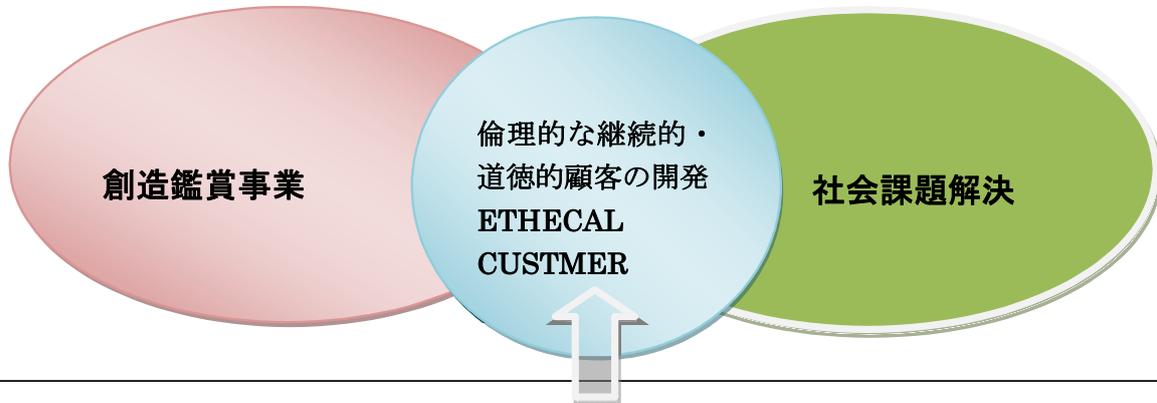




# 社会貢献型マーケティング

CAUSE RELATED MARKETING の導入 (社会課題解決によるブ

ランディングと顧客開発への外部環境づくり)



倫理的な顧客 (ETHECAL CUSTOMER) の創出

持続的・継続的な顧客開発 ⇒ 創客と支持者の開発。

## CRMによる経営指数経年変化。

2003年→2014年

- 来館者数232,200人→ 476,000人 205%増
- フレンドシップ会員数5,042人→9,883人 196%増
- 可児市以外の岐阜県の会員数1,224人→3,513人 287%増
- 愛知県の会員数160人→1,644人 1,096%増
- パッケージチケット購入セット数374→1,155 308%増
- 入場料収入26,268千円→46,508千円 177%増

# まちに広がるアーラ

(2014年度統計値)

- **来館者数476,000人⇒市民1人/年4.7回**  
観客・施設利用者388,000人  
フリースペース利用者75,000人 まち元気参加者13,000人
- **客席稼働率⇒87.8%(前年比171%の伸び)**  
地域拠点契約公演 96.4%
- **観客数52,188 (前年42,112⇒前年比123% 2007年度より368%増)**  
⇒可児市民の1.9人に1人がアーラで舞台鑑賞  
⇒商圈(約25万人)では4.8人に1人がチケット
- **パッケージチケット数 163(2007)⇒1426(2014) 875%。**  
演劇まるかじり214/ まるごとクラシック204/ ウェルカムホーム55/ かに寄席557/アラカルト27  
対人口比率96.0人に1人がパッケージチケットを購入している。(2015年度6月現在)
- **観客男女比率⇒23.8対76.2(2005年度)⇒36.4対63.6(2009年度)**
- **経済波及効果⇒12億2200万円(誘発係数2.57) (2009年度)**

## ソーシャル・インパクト投資

**喫緊課題** SROI(社会的投資収益率)による政策根拠の測定

- 東濃高校の事例・30人のドロップアウトを防いだ。  
高卒者の生涯賃金 1億6000万円×30名⇒48億円  
国民負担率 43.4% 20億8320億円  
租税負担率 25.6% 12億2880万円  
社会保障負担率 17.8% 8億5440万円

- 変数Nをどのような数式で設定するか。
- 従来定性的にしか計測できなかった社会的効果を貨幣価値で算出する。
- 昨年度から顧客コミュニケーション室で、クラウドファンディング導入の研究を開始。

# 賑わいを大切にする劇場経営

## 年間来館者約476,000人 2014年度



創造的福祉社会へ  
新しい社会モデルのデザイン。

From the Arts Hall of Fame to the human house  
「芸術の殿堂」ではなく「人間の家」へ

